（様式2）

資料1-6

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度：令和7年度】

※1～5：所管課記入、6：指定管理者記入、7～8：指定管理者、所管課及び指定管理者評価委員会記入

所管課	産業振興部　商工観光課
指定管理者	釜石まちづくり株式会社

1　施設名等

施設名	釜石情報交流センター
住所	釜石市大町1-1-10
電話番号	0193-22-3607
ホームページ	https://en-trance.jp/ikc

2　施設の概要

設置年月	平成27年12月	根拠条例等	釜石情報交流センター条例及び施行規則
設置目的	釜石情報交流センターは、東部地区新商業拠点区域(FP1)の核施設として、市民の交流と活動及び情報発信の拠点として、地域の人・モノ・出来事に係る情報を収集し、効果的に発信するプラットフォームになることを目的として整備。		
施設内容	ミッフィーカフェかまいし、交流ラウンジ1階、釜石PIT(多目的集会室)、大型車駐車場スペース 市民スタジオ、スタディコーナー、ワークスペース、会議室1、会議室2		
利用料金	別紙参照		
営業日等	休館日：毎月第3木曜日、年末年始(ミッフィーカフェかまいしの休館日は一部異なる)		
営業時間	午前9時から午後9時まで		

3　指定管理者

指定管理者名	釜石まちづくり株式会社
選定方法	公募(応募者数)　・　非公募(随意指定)
指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

4　指定管理料(決算ベース)

令和6年度(B)	令和7年度(B)	差　(B)－(A)
17,500　千円	17,500　千円	0　千円

5　指定管理者が行う業務

釜石情報交流センターの管理運営

6　利用実績等

(1)　利用実績

（単位：人、件、%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度 (A)	1,700	2,108	1,615	2,375	2,595	2,495	3,050	2,823	1,743	1,715	2,187	1,848	26,254
令和7年度 (B)	1,373	2,336	1,892	2,071	3,048	2,778	2,162	2,113	1,459	1,678	2,092	1,717	24,719
増減数 (B)－(A)	-327	228	277	-304	453	283	-888	-710	-284	-37	-95	-131	-1,535
主な増減要因等	貸館の利用回数・利用時間は昨年度とほぼ同様であったが、9月でミッフィーカフェの営業が終了したため、利用数が減少したと考えられる。												

(2)　利用料金収入

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度 (A)	184,900	200,000	156,250	274,900	221,610	309,050	499,100	359,700	283,700	212,350	281,800	306,530	3,289,890
令和7年度 (B)	239,900	219,200	287,600	267,750	327,600	323,000	343,900	378,000	198,000	292,210	322,780	358,460	3,558,400
増減数 (B)－(A)	55,000	19,200	131,350	-7,150	105,990	13,950	-155,200	18,300	-85,700	79,860	40,980	51,930	268,510
主な増減要因等	会議室・市民スタジオ・釜石PITは前年と比較し微増であった。今年度も結果として月ごとに変動はあるものの一年を通して安定しており、当初計画を上回る数値で推移した。												

(3)　利用料金の見直し状況(対前年度比)

見直しの有無	無
(有の場合)見直し内容	

(4)　営業日・時間の見直し状況(対前年度比)

総営業日数	令和6年度　：　347日 令和7年度　：　340日	※10月7日～9日はカフェ退去によるメンテナンスのため休館 ※3月16日～17日はメンテナンス(カーペット張替)のため休館 ※7月30日は地震による津波警報発令のため臨時休館 ※11月9日は地震発生により17時以降臨時閉館
総営業時間	令和6年度　：　4,140時間 令和7年度　：　4,076時間	
見直しの有無	無	
(有の場合)見直し内容		

(5) サービス向上のため実施した内容

スタッフによる定期的な換気や消毒作業により、安心できる施設利用の徹底を図った。今期も受験生応援プロジェクトとして12月～3月の期間において、ワークスペースを受験生に無料開放を行った。カフェスペースでは次の事業者が決定するまでの間の限定企画として"かまいし本の町プロジェクト"の取組みに賛同する形で『本の貸出コーナー』を設置し、スタッフがコメント付でおすすめ書籍を紹介するなど、繋がれる場を無償で利用できるよう整備した。またラウンジには県内プロスポーツの情報コーナーを設け、パブリックビューイング等のイベントやチケット取扱いなどと連動する形で、コミュニティの拠点として幅広い層に向けサービス向上に努めた。

(6) 利用者の主な声とその対応状況

・申請書等の提出をオンラインで受付けてほしい。
⇒申請書の受付や見積書の送付など、メールでもやり取りできるよう改善した。
・盛岡から来たこともあり予定より早く着いたが、受付の方に親切に対応してもらった。

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)　※項目は施設の状況に応じて加除修正してください。

評価項目	指定管理者	評価	所管課	評価	指定管理者評価委員会最終評価
施設の目標に沿った管理運営	コロナ禍以降、来場者数は回復傾向にあるが、年間の来場者の目標には届かなかった。カフェの運営事業者が決まらない中、来場者が増えるよう様々な取組を行ない、市民が繋がり、安心して利用してもらえる管理運営を引き続き行った。	B	来場者数は年間目標5万人に対し24,719人となり、前年度実績を下回ったが、主な要因は「ミッフィーカフェかまいし」の9月閉店による影響と考えられる。前年度のカフェ利用者数を勘案すると、前年度と同水準を維持しているものと認められる。イベント等による利用機会の創出にも継続して取り組んでおり、市民活動拠点として適切な管理運営が行われていると評価する。	B	B
平等な利用の確保	6ヵ月前からの予約対応を実施。目的に応じた施設利用及び料金説明等を丁寧に行っている。カフェスペース及びラウンジ、フリースペースを中心に館内が誰でも気軽に利用できる状態を提供している。	A	施設の予約及び利用に関する手続きを適切に運用し、公平な施設利用の確保が図られている。また、ラウンジ等を誰もが利用しやすい環境として維持しており、平等な利用機会の提供に努めている。	B	B
利用者サービス向上の取組み	利用者が快適に利用できるよう、施設利用や貸出備品に関する事前説明を丁寧に行っており、利用者から高い評価を頂いている。	A	施設利用者への丁寧な対応に努めており、アンケート結果においても職員対応や施設の利用しやすさ等に対する満足度は高い。利用者サービスの向上への取組が適切に行われている。	A	A
提案・自主事業の実施	提案事業6件・自主事業2件を実施した。県内スポーツのパブリックビューイングは、サッカー・バスケに加えて、本年から釜石SW(ラグビー)も実施する事になり、市内外からの参加者が増加し賑わいを見せた。その他賑わいイベントとして100円市や宿題の日・CINEPIT等を一年を通じて継続して実施し、参加者及び利用者からも概ね好評であった。	A	映画上映会、スポーツ応援プロジェクト、百円市などの提案事業を積極的に実施し、市民の交流促進と中心市街地の賑わい創出に取り組んでいる。特に、本年度は新たに釜石シーウェイブスのパブリックビューイングを実施するなど事業の充実が図られたほか、子ども向けイベントや受験生応援プロジェクトなど幅広い世代を対象とした取組も継続展開しており、施設の設置目的に沿った事業運営が行われている。	B	B
職員・管理体制	昼間は3名以上、夜間(18時以降)は2名以上で施設の管理体制を執っており、防犯面・利用面において円滑な運営を行っている。	A	利用状況に応じた適切な人員配置により、安全かつ円滑に運営されている。大きなトラブルもなく、利用者サービスと施設管理の両立が図られており、適切な体制を構築できている。	B	B
収支状況	物価高騰の影響などで懸念される支出の増加に対応するため、清掃内容の調整やエアコンの簡易点検をスタッフが担うなど、収支改善に向けた取組を引き続き実施した。施設利用料収入は前年より増加したものの、カフェの家賃収入が減少したため、収支は赤字となった。	B	物価高騰の中、清掃内容の見直しや施設管理業務の効率化など、収支改善に向けた取組が継続して実施されている。一方で、ミッフィーカフェの営業終了に伴う賃貸収入の減少により、単年度収支はマイナスとなった。厳しい運営環境の中でも経費節減に努めており、今後も施設利用の促進や自主財源の確保に向けた取組を期待する。	B	B
今年度(令和7年度)の取組み	提案事業や自主事業の他、カフェの空きスペースを活用し、本の貸出コーナーや読書できるフリースペースとして開放するなど、常に来訪者を意識した取組を継続的に実施した。季節に応じた装飾や展示もSNS等で積極的に発信を行った。	B	提案事業の実施に当たっては、「宿題の日」イベントに合わせて保護者向けのテーマの映画上映会を開催するなど、ターゲットやテーマ設定を工夫しながら、積極的に取り組んでいる。今後も引き続き市民の交流と活動の拠点として、幅広い年代層のニーズに合わせた事業を企画いただきたい。	B	B
総合評価	施設の貸館利用におけるスタッフの対応は利用者から好評を得ている。 物価高騰や修繕等での支出が多くなり、全体収支にも影響を及ぼしていることから、今後固定費の削減を行いつつ適切な管理運営が必要となる。	A	カフェ閉店や物価高騰などの環境変化の中にあっても、利用料金収入は前年度を上回る実績となっており、提案事業や自主事業を通じた賑わい創出にも継続して取り組んでいる。利用者満足度も高く、施設の設置目的に沿った管理運営が行われていることから、施設管理者として十分な管理運営が行われていたものと判断できる。	B	B

〈評価分類〉 A：仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B：おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適切な管理運営が行われている。
C：仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D：仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 効果と課題

項目	指定管理者	所管課	指定管理者評価委員会
制度の効果	利用者の細かい要望に対して職員が迅速かつ柔軟に対応することができており、今年度も引き続き利用者から高い評価を頂いている。 収支については、赤字となったものの、原因はカフェが抜けた家賃分であり、諸物価高騰に対しても適宜適切な運営ができている。	利用者ニーズに応じた柔軟な対応により、利用者アンケートにおいて高い満足度が維持されている。また、カフェ閉店や物価高騰など厳しい運営環境の中においても、効率的かつ適切な施設運営が行われている。このことから、指定管理者制度の導入によって期待する効果は引き続き発揮されている。	・本施設以外との連携、一体的運営による効果が高い。 ・町の中心のミッフィーカフェの存続を望みます。 ・収支の点で課題は残るものの、市民の交流や情報発信といった目的を十分に達成していると思われる。 ・人口減や施設の増加により、設立当初より利用者数は減っていく中で、自主企画等様々な工夫をして利用者増に努めている。目標数下げてもいいのでは。

施設の管理運営の課題	物価高騰の影響に伴う収支のバランスには引き続き注視が必要である。 令和7年9月にミッフィーカフェが営業を終了した事で、利用者数は一定程度減少する形となったが、次の運営事業者が決定するまでは、スペースを有効活用し、来訪者への利便性や満足度の向上に繋げていく。 経年に伴う修繕費については、エアコンの室外機に異音が発生しオーバーホールの必要が生じているほか、館内LED照明の寿命、換気扇フィルターの交換など、早急に対応が必要な案件が増加している。躯体や高額な機材等への対応は市の予算確保が必要であり、利用者サービスへの影響も懸念されている事から大きな課題となっている。	人口減少やミッフィーカフェの営業終了に伴う来場者数への影響が見られることから、空きスペースの有効活用や新たな運営事業者の確保など、施設の魅力向上と利用促進を図る必要がある。 また、開館から10年が経過し、空調設備や照明設備を中心に老朽化が進行している。特に空調設備については室外機のオーバーホールが必要な状況となっており、市においては計画的な修繕・更新に向けた実施計画の作成を進めているところである。今後も必要な財源の確保を図りながら、施設機能の維持及び長寿命化に取り組む必要がある。	・ミッフィーカフェの設置、実施、運営での課題への対応（条件対応への工夫、協力体制など） ・ロビー、事務所回りも整理して、利用者が入りやすいようにお願いします。 ・空きスペースの利用、支出の調整等について、継続して取り組む必要がある。 ・清掃をはじめとしてコスト削減に努めている印象だが、必要な経費（特に修繕費など安全面への投資）はしっかり使い、事業収入や利用料収入増を目指して取り組んでいただければと思います。